

ヘッドマウント ディスプレイ

リファレンスガイド

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故防止と健康のための重要な注意事項および、製品の取り扱い方を示しています。この説明書と別冊の「スタートガイド」をよくお読みのうえ、製品を正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

本機を初めてご使用になるときは

別冊の「スタートガイド」をご覧になり、
本機の接続と装着、初期設定を行ってください。

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

3～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

8ページの「健康に関するご注意」および9ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの修理相談窓口(裏表紙)に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーのご相談窓口(裏表紙)に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く



安全のために

この表示の注意事項を守らないと、**火災・感電**などにより**死亡や大けが**など人身事故の原因になります。

落としたり強い衝撃を与えない 高温になる場所や直射日光の当たる場所には 置かない

変形し画面にずれが生じることがあります。画面がずれたままの状態
で使用を続けると、眼精疲労を招くおそれがあります。28ページの
「画面位置を確認する」に従ってチェックした際、画面にずれが確認され
た場合は、ソニーのご相談窓口(裏表紙)まで修理をご依頼ください。



禁止

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店また
はソニーのご相談窓口(裏表紙)にご依頼ください。



分解禁止

火の中に入れてない



禁止

湿気やほこり、油煙、湯気が多い場所には置かない

火災や感電の原因となります。特に風呂場では絶対に使用しないでく
ださい。



禁止

指定以外のACアダプターを使わない

火災やけがの原因となることがあります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重い物をのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、ソニーのご相談窓口(裏表紙)に交換をご
依頼ください。



禁止

雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない

感電の原因となります。



内部に水や異物を入れないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機を水滴のかかる場所に置かないでください。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口(裏表紙)にご相談ください。



可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、スイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。



プロセッサユニットやバッテリーユニット、ACアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火炎源を置かない

火災の原因となります。



本機を廃棄する場合は、一般ごみに混ぜて捨てない

本機はリチウムイオン電池を内蔵していますので、ゴミ収集作業などで衝撃や圧力が加わり、漏液、発熱、発火、破裂などの危険があります。不要になった場合は、ソニーのご相談窓口(裏表紙)にご相談のうえ、リサイクルにご協力ください。廃棄する場合は、地方自治体の条例などに従ってください。



電池を火のそばや直射日光のあたるところなど、高温の場所で使用、保管、放置しない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



無線機能ご使用上の注意(HMZ-T3Wのみ)

航空機内では無線機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは無線機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm 以上離す

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは無線機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、無線機能の使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



本機の無線機能は日本国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機の無線機能を使用した場合、罰せられることがあります。





この表示の注意事項を守らないと、**感電**やその他の事故により**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。



禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。



禁止

かゆみなど違和感があったら使わない

使用中、肌に合わないと感じたときは使用を中止して医師またはお買い上げ店、ソニーの使い方相談窓口(裏表紙)にご相談ください。



禁止

イヤークピースはしっかり装着する

イヤークピースがヘッドホンからはずれて耳に残ると、けがや病気の原因となることがあります。



禁止

ぬれた手で電源プラグに触らない

感電の原因となります。



ぬれ手禁止

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。



プラグをコンセントから抜く

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物(じゅうたんや毛布など)の上に放置しない。
- 布などでくるまない。
- キャリングケースや本棚などに入れた状態で使用しない。



禁止

通電中のプロセッサユニットやバッテリーユニット、ACアダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



充電式電池の液が漏れたときは素手で液を触らない

液が本製品内部に残ることがあるため、ソニーのご相談窓口(裏表紙)にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服につたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。



Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人JBRCホームページ(<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>)を参照してください。

機銘板は、プロセッサユニットの底面、バッテリーユニットの底面に表示してあります。

健康に関するご注意

ご使用になる方の年齢について

本機での映像の視聴は成長過程のお子さまの健康に影響を与えるおそれがあります。15歳以下のお子さまには本機の使用を控えさせていただきます。また、お子さまの使用を防ぐためには、本機のパスワード設定機能をお使いください(38ページ)。

本機での映像の視聴について

- 映像の視聴中やゲームのプレイ中に目の疲労、疲れ、気分が悪くなる・乗り物酔いに似た症状が出るなどの不快な症状が出る場合があります。映像を視聴したり、ゲームをプレイするときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまで視聴やゲームのプレイをやめ、必要に応じて医師にご相談ください。
- 不快な症状が出やすくなる可能性がありますので、ゆれの激しい環境での使用や、歩いたり運動しながらの使用はしないでください。
- 本機に接続する機器やソフトウェアの取扱説明書もあわせてご覧ください。最新情報については、ホームページ(<http://www.sony.jp/support/>)をご覧ください。

本機の使いかたについて

- 正しい装着状態で使用してください。
 - 装着方法については、「スタートガイド」をご覧ください。
 - 左右の画面位置ずれがないことを、「正常表示チェック画面」で確認してから使用してください。
 - 落としたりすると左右の画面位置がずれる場合があります。
- 使用中のプロセッサユニットやバッテリーユニット、ACアダプターに長時間触れないでください。長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。
- 本機の瞳孔間距離(眼幅)適合範囲は53.0 mm – 76.7 mmです。この範囲に収まらない方は、本機をお使いいただけません。
- お買い上げ時の設定では、連続使用が3時間で電源が自動的に切れる警告画面が表示され、これをキャンセルして使用し続けた場合でも、さらに3時間経過すると自動的に電源が切れません。

本機を快適にご視聴いただくために

本機は、映像を遠くに投影するように設計されています。

日常生活で眼鏡やコンタクトレンズを使用されている方は、それらを使用したままご視聴ください(手元を見る老眼鏡などは除きます)。

なお、遠近両用の眼鏡やコンタクトレンズでは、快適にご視聴いただけない場合があります。

使用上のご注意

電源について

ACアダプターは、コンセントの近くでお使いください。異常な音やにおい、煙が出たときはすぐに電源コードのプラグをコンセントから抜いて電源を切り、電源を遮断してください。ヘッドマウントユニットやプロセッサユニットの電源ボタンを切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

ACアダプターについて

- 指定以外のACアダプターを使用しないでください。故障の原因となります。
- 本機専用のUSBケーブルや電源コード以外の使用については、性能および安全性を保障しません。
- ACアダプターを分解または改造しないでください。
- ACアダプターの金属部分に触れないでください。特に金属物に触れるとショートしてACアダプターが損傷することがあります。
- USBハブやUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず、お使いの機器に付属の専用USB接続ケーブルなど、接続機器側の指定する接続方法に従ってください。

内蔵バッテリーについて

- バッテリーを十分に充電しても、使える時間がお買い上げ時の半分くらいになったときはバッテリーの交換をおすすめします。ソニーのご相談窓口(裏表紙)へお問い合わせください。
- バッテリーを使いきった状態から充電が可能な回数の目安は500回です。ただし、使用条件により異なります。
- 本機を長期間使わない場合、バッテリーの劣化を防ぐため、半年ごとに充電するようにしてください。

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- 振動の多いところ。
- 直射日光が当たるところ、湿度や温度が高いところ。

- 極端に寒いところ。

また、本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

持ち運びについて

本機はケーブルやヘッドバンドを持って移動しないでください。落としたり、何かに当たって破損したりして、故障の原因となります。

結露(露つき)について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きた場合、結露がなくなるまで、そのまま放置してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込んでいない場合
電源プラグをコンセントに差し込まないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れていない場合
電源を入れなくて、そのまま放置してください。
- 電源を入れている場合
電源を入れたまま放置してください。

結露があるときにご使用になると、故障の原因となります。

静電気について

空気が乾燥する時期に耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、これは本機の故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けることにより、静電気の影響を軽減できます。

レンズについて

- 汚れや傷がつかないように注意してご使用ください。万一、汚れた場合は、レンズ専用の柔らかい布で軽く拭いてください。
- レンズクリーニング液やアルコール、水などの液体は使用しないでください。

- 強い衝撃や過度の力を与えないでください。レンズに欠けや割れが発生するとけがの原因になります。その場合には直ちに使用を中止し、破損部には手を触れないようご注意ください。

本機のお手入れのしかた

本機のキャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使用しないでください。

ヘッドホンのお手入れのしかた

- ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾拭きしてください。
- ヘッドホンからイヤークリップをはずし、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよく拭いてからご使用ください。

再生を開始するとき

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。

梱包材の保管について

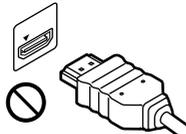
修理や引越などで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材をご使用ください。

HDMI端子につなぐときのご注意

次のような場合、HDMI端子やコネクタを破損させるおそれがありますのでご注意ください。

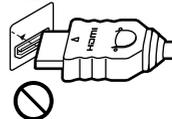
- ケーブルを差し込むときは、バッテリーユニットやプロセッサユニットのHDMI端子とコネクタの形や向きに注意してください。

HDMI 入出力



コネクタが逆になっている

HDMI 入出力



曲がっている

- プロセッサユニットを移動させるときは、必ずHDMIケーブルを抜いてください。



- HDMIケーブルを抜き差しするときは、コネクタをまっすぐ持ってください。コネクタをねじ曲げたり、HDMI端子に強く押し込んだりしないでください。
- HDMIケーブルは、付属のケーブルまたは“HIGH SPEED”タイプのケーブルをご利用ください。

付属のヘッドホンを使用するときのご注意

- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの使い方相談窓口(裏表紙)に相談してください。
- ヘッドホンをヘッドマウントユニットやプロセッサユニットからはずすときは、ヘッドホンのプラグを持ってはずしてください。コードを持って引っ張ると断線の原因となります場合があります。
- イヤークリップは長期の使用／保存により劣化するおそれがあります。

無線通信について(HMZ-T3Wのみ)

- 本機は暗号機能を搭載していますが、無線通信を使用しているため、傍受にご注意ください。機密を要する重要な通信または人命に関わる用途には使用しないでください。
- 傍受とは、無線通信の内容を第三者が受信機で故意または偶然に受信することです。
- 本機は国内安全規格に基づいて製品化されていますが、まれに他の機器と干渉してノイズを発生することがあります。干渉がある場合は、他の機器との距離を離してください。
- 本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく特定小電力機器の無線設備として認証を受けています。

証明表示は無線装置上および機銘板に表示されています。

なお、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本機内蔵の無線装置を分解/改造すること。
 - 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベル及び機銘板を剥がすこと。
- この機器は60 GHz帯の無線周波数帯を使用していますが、他の無線装置も同じ周波数を使っていることがあります。この機器と他の無線装置間との電波干渉を防止するために、下記事項に注意してご使用ください。
この無線装置の使用周波数は60 GHz帯を使用します。変調方式として60 GHz帯はOFDM方式を採用しています。
 - 20 m四方のエリアで本機を含む3組以上の60 GHz帯の無線装置を動作させると電波の干渉により無線通信ができないことがあります。
 - 飛行機の中では、本機の無線機能を切ってください。
 - 本機の無線機能は、日本国内でのみ使用できます。

商標について

- HDMI®、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。

HDMI

- MHL™、Mobile High-Definition Link およびMHLロゴは、MHL Licensing, LLC の商標もしくは登録商標です。


Mobile High-Definition Link

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSの特許については、<http://patents.dts.com> をご覧ください。
本機はDTS Licensing Limited社のライセンスに基づき製造しています。
DTS、DTS-HDとそのシンボル、およびDTSとシンボルの組み合わせはDTS, Inc. 社の登録商標です。©DTS, Inc. All Rights Reserved.
- WirelessHD™ は Silicon Image, Inc. の登録商標です。
- “PlayStation” および “PS3” は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- “VPT”、Virtualphones Technology はソニー株式会社の登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは省略している場合があります。

目次

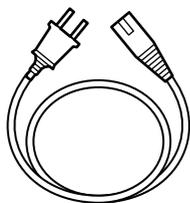
| | |
|--------------------------|----|
| ⚠警告 安全のために | 2 |
| 健康に関するご注意 | 8 |
| 使用上のご注意 | 9 |
| 商標について | 11 |
| 付属品 | 13 |
| 各部の名前 | 15 |
| バッテリーユニットを充電する | 18 |
| 無線接続で使う(HMZ-T3Wのみ) | 19 |
| 有線接続で使う | 21 |
| ポータブル機器などに接続して使う | 22 |
| ヘッドマウントユニットを調整する | 23 |
| 画面位置を確認する | 28 |
| 本機の設定を変更する | 30 |
| 故障かな?と思ったら | 41 |
| 保証書とアフターサービス | 51 |
| 廃棄するときは | 52 |
| 主な仕様 | 53 |

付属品

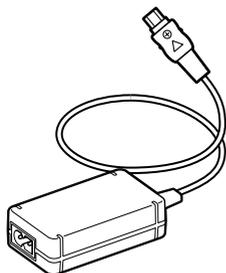
ご購入後は、以下の付属品が揃っているか確認してください。万一、不足している場合は、お買い上げ店またはソニーの修理相談窓口(裏表紙)にご連絡ください。接続のしかたは、「スタートガイド」をご覧ください。

- 電源コード(2)

付属の電源コードは本機のACアダプター専用です。他の電気機器では使用できません。



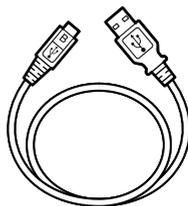
- ACアダプター (大) (AC-L200D) (1)



- ACアダプター (小) (AC-UD10) (1)

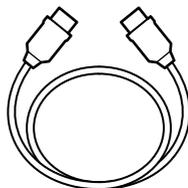


- マイクロUSBケーブル(AC-UD10用) (1)

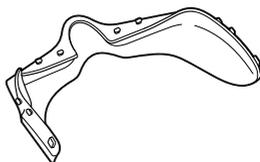


- HDMIケーブル 1.5 m (1)、3 m (1) (HMZ-T3)

HDMIケーブル 1.5 m (1) (HMZ-T3W)



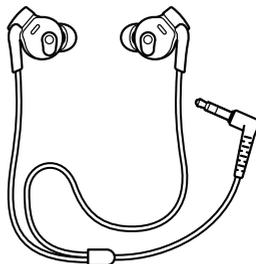
- ライトシールド(下) (1)



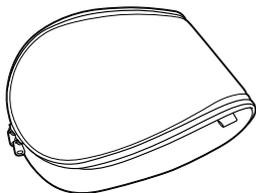
- ケーブルホルダー (1)



- ヘッドホン(1)*



- イヤーピース(一式)*
お買い上げ時はMサイズが装着されています。
- キャリングケース(1)



- スタンド(1)(HMZ-T3Wのみ)



- リファレンスガイド(本書)(1)
- スタートガイド(1)
- 保証書(1)

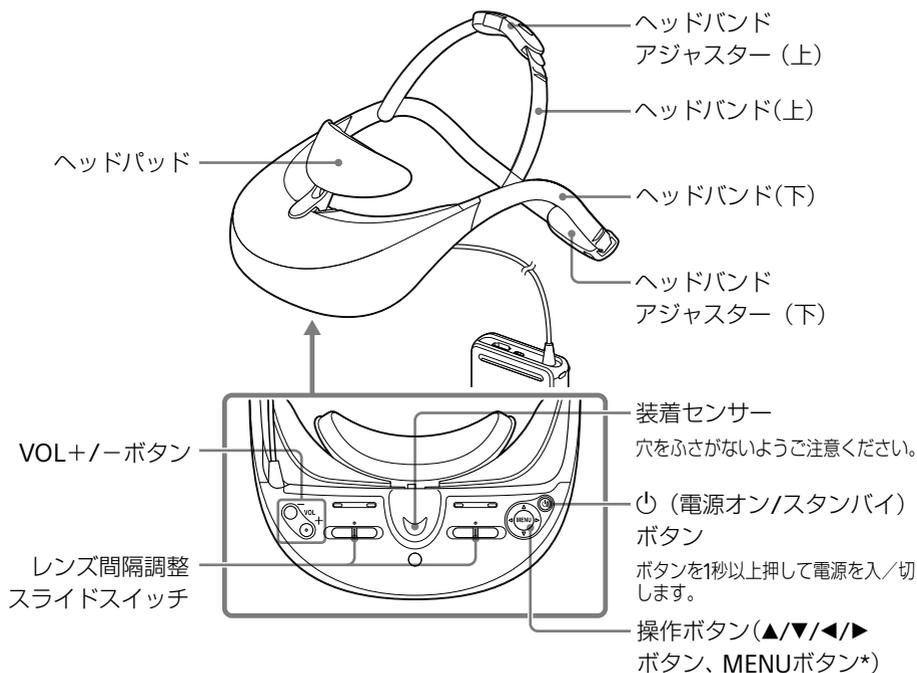
* HMZ-T3とHMZ-T3Wでは、付属のヘッドホンとイヤーピースが異なります。

この説明書では、説明のため、HMZ-T3Wに付属のヘッドホンのイラストを使用しています。

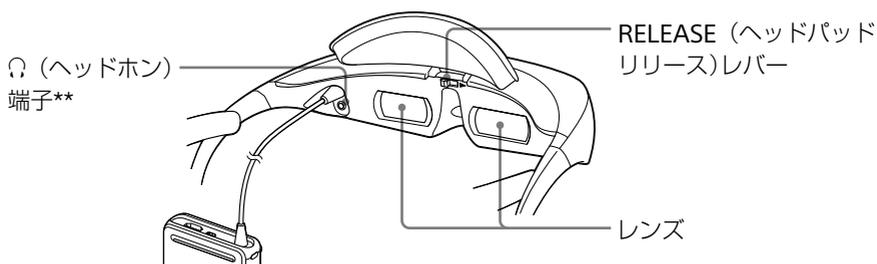
各部の名前

接続、装着については、「スタートガイド」をご覧ください。

ヘッドマウントユニット



* MENUボタンを押すと、セットアップメニューを表示します。また、選択した設定項目を確定する決定ボタンとしても機能します。

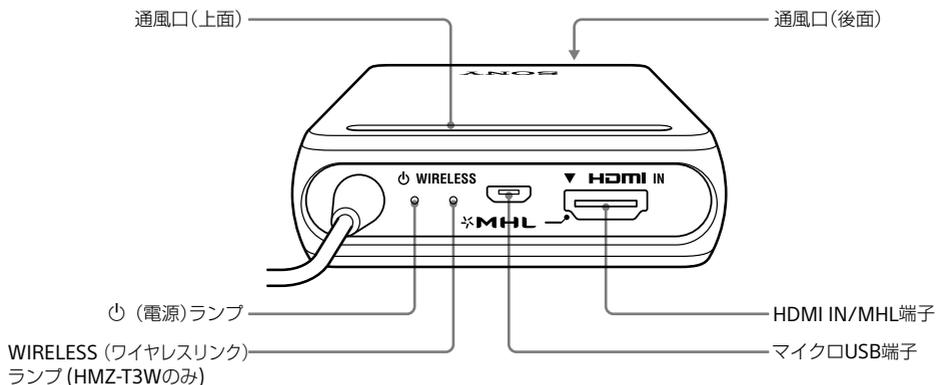


**付属のヘッドホンやお手持ちのステレオミニプラグ付きのヘッドホンを接続することができます。

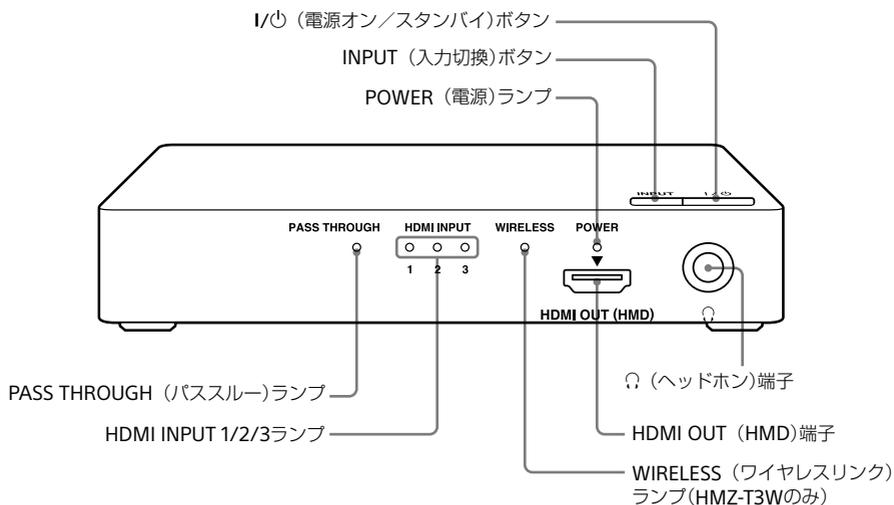
ご注意

- ヘッドマウントユニットとバッテリーユニットをつないでいるコードは抜くことができません。

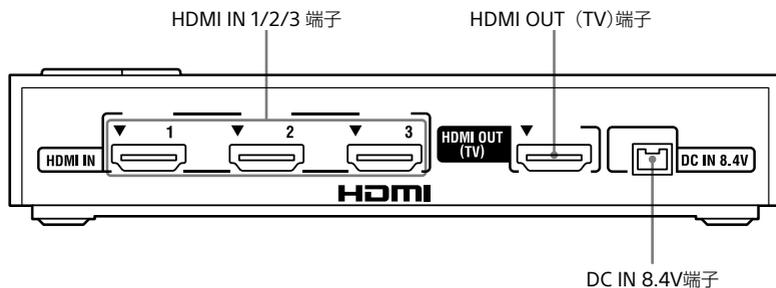
バッテリーユニット(前面)



プロセッサユニット(前面・上面)



プロセッサユニット(後面)



ランプ表示

バッテリーユニットとプロセッサユニットのランプは、本機の状態を表示します。

| | ランプ表示 | 状態 |
|------------------------------------|---------|-------------------------------|
| バッテリーユニット | | |
| ⦿ (電源)ランプ | 緑の点灯 | 電源オン(充電なし) |
| | オレンジの点灯 | 電源オンまたは電源オフ(充電中) |
| | 消灯 | 電源オフ(充電なし) |
| WIRELESS (ワイヤレスリンク)ランプ (HMZ-T3Wのみ) | 青の点灯 | 無線接続確立時 |
| | 青の速い点滅 | 無線接続確立時(選択中の入力端子からの映像入力がないとき) |
| | 青の点滅 | 無線接続確立中 |
| | 消灯 | 無線接続オフ |
| プロセッサユニット | | |
| POWER (電源)ランプ | 緑の点灯 | 電源オン |
| | 赤の点灯 | 電源オフでスタンバイ時 |
| | 消灯 | 電源未接続 |
| PASS THROUGH (パススルー)ランプ | オレンジで点灯 | HDMI/パススルー設定「入」で、電源オフ(スタンバイ)時 |
| | 消灯 | 上記以外の場合 |
| HDMI INPUT 1/2/3ランプ | オレンジの点灯 | 選択されているHDMI入力のランプが点灯 |
| | 消灯 | HDMI/パススルー設定「切」で、電源オフ(スタンバイ)時 |
| WIRELESS (ワイヤレスリンク)ランプ (HMZ-T3Wのみ) | 青の点灯 | 無線接続確立時 |
| | 青の速い点滅 | 無線接続確立時(選択中の入力端子からの映像入力がないとき) |
| | 青の点滅 | 無線接続確立中 |
| | 消灯 | 無線接続オフ |

- ランプによる異常通知は、「故障かな?と思ったら」の「ランプによる異常通知」(50 ページ)をご覧ください。

バッテリーユニットを充電する

本機を初めて使用するときやバッテリーが消耗したときには、バッテリーユニットを充電してください。

充電のしかたは、「スタートガイド」をご覧ください。

バッテリーユニットにACアダプター（小）AC-UD10と電源コードをつなぐと、充電が始まります。

充電中は \cup （電源）ランプがオレンジ色に点灯します。充電が終わると \cup ランプは消灯します（電源オフの場合）。

ヒント

- 電源が入っていても充電はできませんが、充電時間が長かかります。充電だけをしたい場合は、電源を切って充電することをおすすめします。

ご注意

- 周囲の温度や使用状況によって、充電ができなくなったり、充電に時間がかかったりすることがあります。
 - － 充電は周囲の温度が5℃～35℃の環境で行ってください。
 - － 本機を無線接続で動作している場合には、充電されないことがあります。充電するには、電源を切るか、有線接続で動作させてください。（HMZ-T3Wのみ）
- 本機を使用中や充電中は、バッテリーユニットやACアダプターが熱くなりますが、安全上問題ありません。バッテリーユニットやACアダプターが通常よりも熱くなる場合は、電源を切り、ACアダプターと本機の使用を中止してください。

充電時間と動作時間

常温（23℃）での充電時間と動作時間の目安は以下のとおりです。

| | |
|------|----------------------------|
| 充電時間 | 約5.5時間（有線動作時） |
| | 約4.5時間（スタンバイ時） |
| 動作時間 | 約3時間（無線接続時） （HMZ-T3Wのみ） |
| | 約7時間（HDMI接続時） |
| | 約3時間（MHL接続時） |

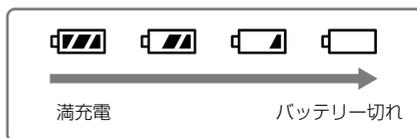
ご注意

- 充電時間や動作時間は、周囲の温度、バッテリーの状態、または使用状況により変わります。
- 以下の場合には充電時間が長くなったり充電されなかったりすることがあります。
 - － 無線接続で使用しているとき
 - － バッテリーユニットへMHL接続して使用しているとき
 - － 周囲の温度が高いとき
- 無線の通信状況が悪いときは、バッテリーの動作時間が短くなります。（HMZ-T3Wのみ）

バッテリーの残量を確認するには

ヘッドマウントユニットのMENUボタンを押して表示されるメニューから、[インフォメーション]を選択してください。インフォメーション画面の右上にバッテリー残量が表示されます（31ページ）。

バッテリー残量表示



無線接続で使う(HMZ-T3Wのみ)

プロセッサユニットとバッテリーユニットを無線で接続して使います。

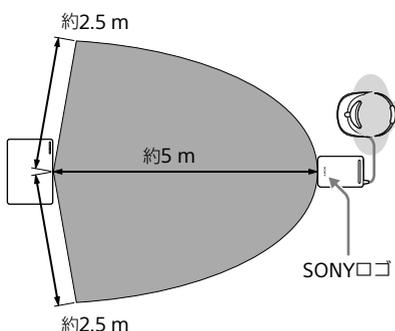
設置例と通信可能範囲

本機のプロセッサユニットとバッテリーユニットには、SONYロゴがある面に無線通信用のアンテナが配置されています。無線通信で接続する場合は、下図を参考に設置してください。

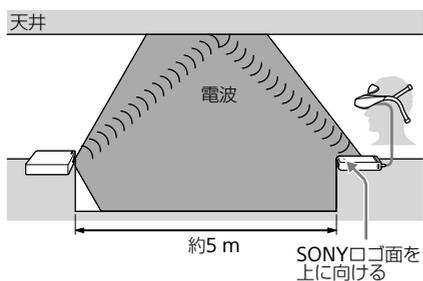
グレー部分が無線通信可能範囲です。

平置きで使用した場合

上から見た図

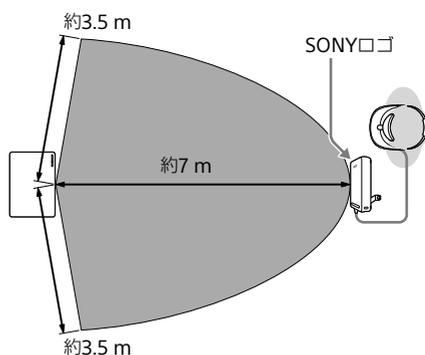


横から見た図

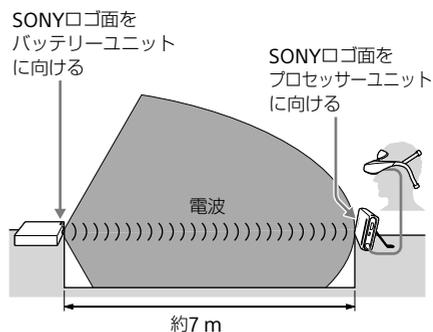


付属のスタンドを使用した場合

上から見た図



横から見た図



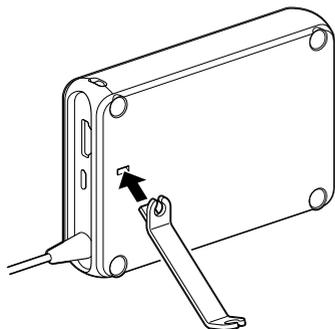
ヒント

- 平置きで使用した場合は、主に天井や壁などで反射した電波で通信を行うため、部屋の環境によっては通信可能距離が短くなる場合があります。付属のスタンドをご使用いただくと通信可能距離を長くすることができます。

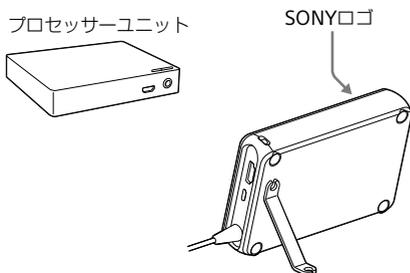
スタンドの使いかた

1 付属のスタンドをバッテリーユニットに装着する。

バッテリーユニット底面の穴にスタンドの突起を差し込みます。

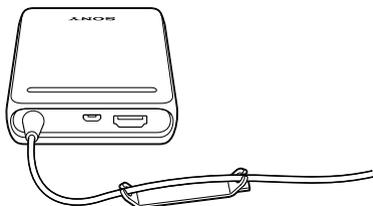


2 スタンドを装着したバッテリーユニットのSONYロゴ面をプロセッサユニットに向けて置く。



使い終わったら

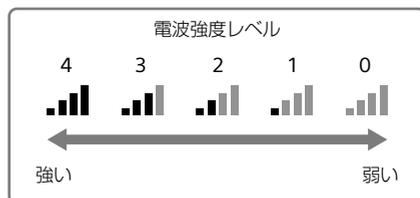
バッテリーユニットからスタンドを取りはずし、バッテリーユニットのケーブルに取り付けておきます。



電波の強さを確認するには

ヘッドマウントユニットのMENUボタンを押して表示されるメニューから、[インフォメーション]を選択してください。インフォメーション画面の右上に無線電波強度が表示されます(31ページ)。

無線電波強度表示



安定した接続を保持するため、電波強度レベル2以上を目安として、できるだけ電波の強い状態でお使いください。

無線通信で使う場合のご注意

- 本機は部屋間など障害物のある状況では通信できません。
- 次のような場合、プロセッサユニットとバッテリーユニット間の無線通信状態に悪影響を及ぼして通信可能距離が短くなり、映像や音声の乱れ(画質劣化、途切れ、ノイズ、雑音)が発生したりすることがあります。
 - － 鉄筋/コンクリート/石の壁や床のある部屋、および床暖房の入った部屋で使用した場合
 - － 間仕切りやドア、防火ガラス、金属などの材料を使った家具や電化製品などの障害物がプロセッサユニットとバッテリーユニットの間にある場合
 - － 扉付きや金属製のラックにプロセッサユニットやバッテリーユニットを設置した場合
 - － 同じラックにプロセッサユニットとバッテリーユニットを設置した場合

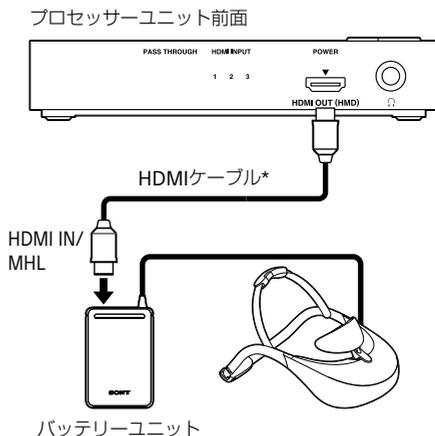
- 次のような場合、使用環境の変化により、一時的に無線通信状態が悪化し、映像や音声の乱れが発生したり、本機の操作に支障をきたすことがあります。

- プロセッサユニットやバッテリーユニットのSONYロゴがある面を、人体や物で覆った場合
- 部屋内で人や動物、物(カーテン、ドア、ふすま、障子なども含む)が動いた場合

- 映像や音声に乱れが発生した場合にはプロセッサユニットとバッテリーユニットの配置や向きを確認してください。
- お買い上げ時のプロセッサユニットとバッテリーユニットの組み合わせのみ、無線通信ができます。
- 同一の部屋内で使用できるのは、本機を含めて2組のみです。

有線接続で使う

プロセッサユニットとバッテリーユニットをHDMIケーブルで接続して使います。



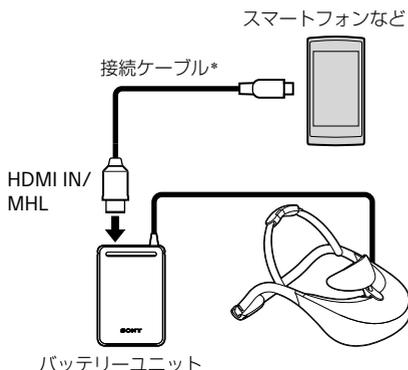
- * HMZ-T3は付属のHDMIケーブル(3 m)、HMZ-T3Wは別売りのHIGH SPEED HDMIケーブルを使用してください。

ポータブル機器などに接続して使う

再生機器をバッテリーユニットにHDMIケーブルで直接接続して使用することができます。

AC電源がないところでも本機を使用することができます。

MHLケーブル(別売)を使ってMHL対応機器を接続することもできます。



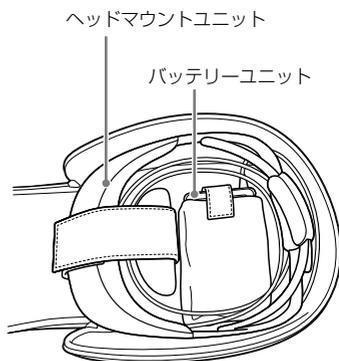
* MHL対応機器を接続する場合は、MHLケーブル(別売)を、その他の再生機器を接続する場合は、HDMIケーブルを使用してください。

ご注意

- 航空機内など、電波の発信が禁止されている場所で使用する場合には、必ず[本体設定]の[無線接続]を[切]にしてください(40ページ)。(HMZ-T3Wのみ)
- この接続方法はプロセッサユニットと接続しないため、音質・音声設定(36ページ)の一部や本体設定(38ページ)の一部の設定ができず、それらの機能が使えません。

キャリングケースの使いかた

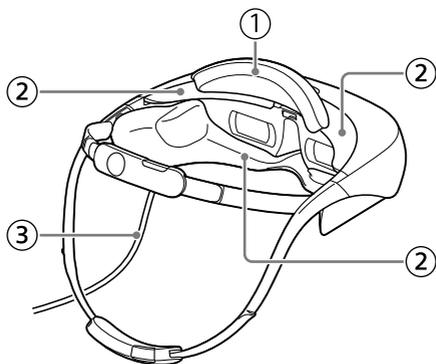
バッテリーユニットをポケットに入れ、ヘッドマウントユニットをマジックテープで固定して収納します。



ヘッドマウントユニットを調整する

ヘッドマウントユニットは、お使いのお客様に応じてさまざまな方法で調整できるようになっています。快適な装着感を得られるように、装着前には必ずヘッドマウントユニットの調整を行ってください。

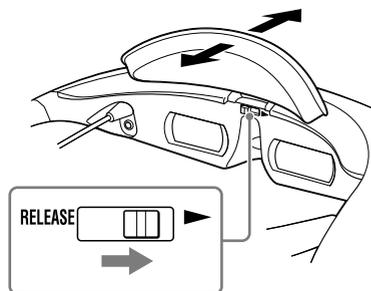
お買い求め後、初めて装着される場合は、スタートガイドをご覧ください。



①ヘッドパッドの調整

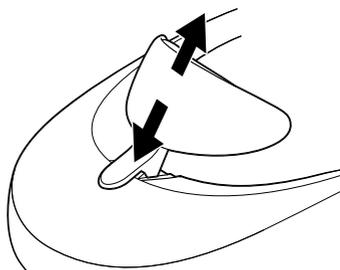
ヘッドパッドの位置は、前後および上下に調整することができます。

前後の調整



ヘッドパッドを前後に動かすときは、RELEASE（ヘッドパッドリリース）レバーを右へスライドさせてからヘッドパッドを動かします。

上下の調整



ヘッドパッドを上下に動かします。

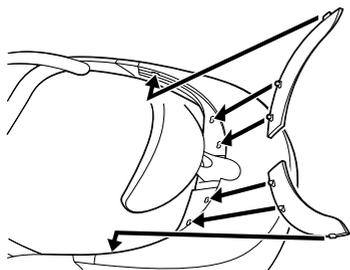
ヒント

- ヘッドマウントユニットが眼鏡や鼻に当たるときは、ヘッドパッドを手前や下に動かしてください。

②ライトシールド

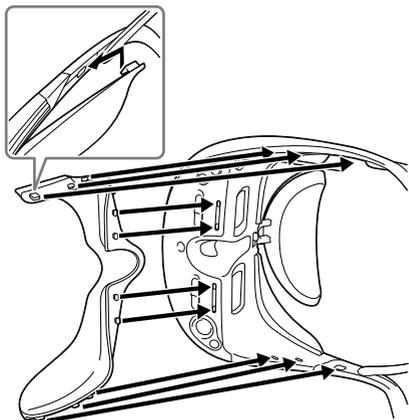
ライトシールド(上)は取りはずすことができます。光が反射して画面が見にくいなど、外光が気になる場合には装着してください。

ライトシールド(上)(L)



ライトシールド(上)(R)

ライトシールド(上)は、左用に「L」、右用に「R」と刻印されています。左右を確認し、レンズ部上部の3か所の穴にライトシールド(上)の突起を挿入して装着します。



ライトシールド(下)

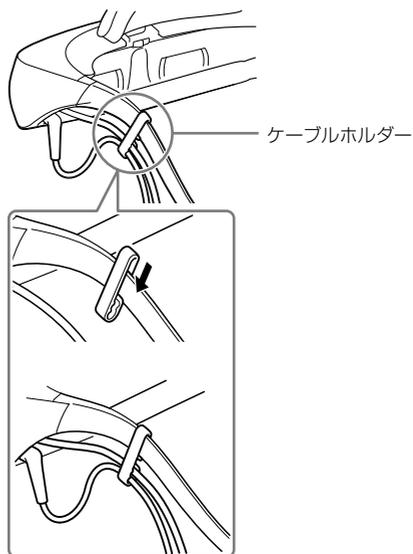
ライトシールド(下)を装着するには、レンズ下部と側面の8か所の穴に突起を挿入し、左右の端をフックに引っ掛けます。

ご注意

- ご使用の眼鏡によっては、ライトシールドが装着できないことがあります。
- ライトシールドを装着しても外光が気になるときは、部屋の照明を落したり、外光が入りにくい場所に移動してください。

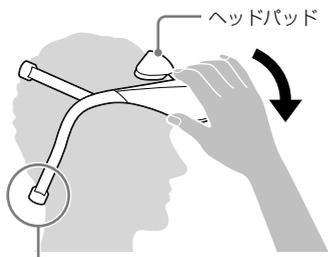
③ケーブルホルダーの装着

ヘッドマウントユニットの接続ケーブルが邪魔にならないように、付属のケーブルホルダーを使ってヘッドバンド(下)と接続ケーブルを固定することができます。



快適に装着するためのポイント

ヘッドマウントユニットを額と首の後ろで支える



ヘッドバンド(下)

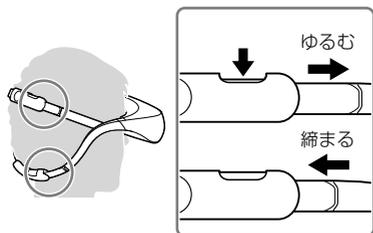
ヘッドマウントユニットは、ヘッドパッドとヘッドバンド(下)で支えるようにして装着し、レンズが目の正面にくるように位置を調整して固定します。

鼻が位置する開口部は、鼻が触れないように隙間を確保するようにしてください。

しっかりとフィットさせる

上下どちらかのヘッドバンドがゆるい、またはきつい場合には、ヘッドバンドの長さをそれぞれ調節してください。

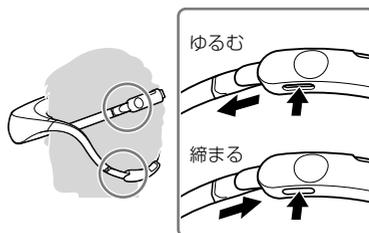
右側のヘッドバンドの調整



ゆるめるときは、ヘッドバンドアジャスター上のボタンを押しながら、右側のバンドを引き出します。

締めるときは、右側のバンドをアジャスターに押し込みます。

左側のヘッドバンドの調整



ゆるめるときは、ヘッドバンドアジャスターの下側にあるボタンを押しながら左側のバンドを引き出します。

締めるときは、アジャスターの下側のボタンを押しながら左側のバンドをアジャスターに押し込みます。

ご注意

ヘッドバンドアジャスター（上）にある円形の部分は将来のアクセサリ取り付け用ねじ穴の蓋です。ボタンではありませんので押しても動作しません。

イヤークピースの装着と交換について

イヤークピースが耳にフィットしていないと、低音が聞こえないことがあります。より良い音質を楽しんでいただくために、イヤークピースのサイズを交換したり、おさまりのよい位置に調整するなど、ぴったり耳に装着させるようにしてください。

お買い上げ時には、Mサイズが装着されています。サイズが耳に合わないと感じたときは、付属のLサイズやSサイズに交換してください。Sサイズより小さいSSサイズもあります(HMZ-T3Wには付属、HMZ-T3は別売)。

イヤークピースのサイズはイヤークピース内側の色で確認してください。

イヤークピースがはずれて耳に残らないよう、イヤークピースを交換する際には、ヘッドホンにしっかり取り付けてください。

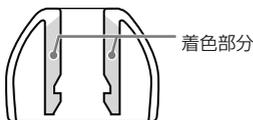
本機に付属のイヤークピース

HMZ-T3:L/M/Sサイズ(各サイズ2個組)

HMZ-T3W:L/M/S/SSサイズ(各サイズ2個組)、ノイズアイソレーションイヤークピース L/M/Sサイズ(各サイズ2個組)

この説明書では、説明のため、HMZ-T3Wに付属のイヤークピースのイラストを使用しています。

イヤークピースのサイズ(内側の色)



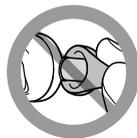
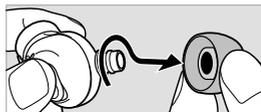
小さい

大きい

| | | | |
|-----------|----------|----------|-----------|
| SS (赤) | S (橙) | M (緑) | L (水色) |
|-----------|----------|----------|-----------|

イヤークピースをはずすときは

ヘッドホンを押さえた状態で、イヤークピースをねじりながら引き抜きます。*

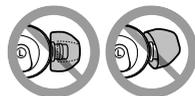
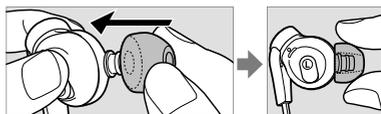


ヒント

- イヤークピースが滑ってはずれない場合は、乾いた柔らかい布でくるむとはずれやすくなります。

イヤークピースをつけるときは

ヘッドホンの突起部分が完全に隠れるまで、イヤークピースの着色部分を押し込んでください。*



- * イラストは、HMZ-T3Wに付属のヘッドホンを使用しています。

ノイズアイソレーションイヤークピースについて(HMZ-T3Wのみ)

より耳にフィットし、遮音性を向上させる目的で、ノイズアイソレーションイヤークピースを付属しています。



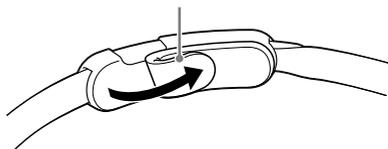
S (橙) M (緑) L (水色)

ご注意

- 耳によりフィットするため、耳への負担が大きくなるおそれがあります。違和感のある場合には、使用を中止してください。
- ウレタンだけを持ったり引っ張ったりしないでください。イヤークピースから分離すると、機能しなくなります。
- 低反撥ウレタン素材は、長期の使用・保存により劣化します。劣化すると本来の性能が機能しなくなるおそれがあります。
- 洗わないでください。また、汗などは乾燥させ

て、内部に水分が残らないようにしてください。早期劣化の原因となるおそれがあります。

ヘッドバンドアジャスタークッション



消耗品の交換について

下記の消耗品は、交換部品として購入することができます(51ページ)。

- イヤーピース*
- ライトシールド(上)(左右)
- ライトシールド(下)
- ケーブルホルダー
- ヘッドパッドクッション
- ヘッドバンドアジャスタークッション
- スタンド(HMZ-T3Wのみ)

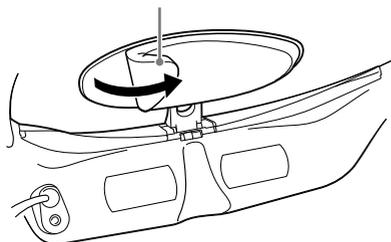
これら消耗品が破損したり磨耗したときは、交換してください。

* EP-EX11シリーズ(SS、S、M、Lの各サイズ)をお買い求めください。
また、HMZ-T3Wのみ、ノイズアイソレーションイヤープieces EP-EXN50シリーズ(S、M、Lの各サイズ)もお買い求めいただけます。

ヘッドパッドクッション、ヘッドバンドアジャスタークッションの交換について

クッションは両面テープで貼り付けられています。交換する場合には、ヘッドパッドやヘッドバンドアジャスターから古いクッションをはがし、新しいクッションを同じ位置に貼り付けてください。

ヘッドパッドクッション

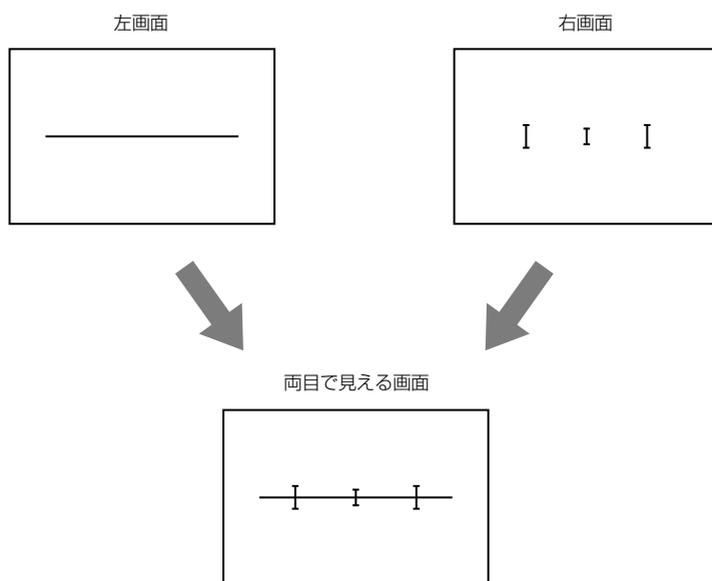


画面位置を確認する

本機の電源を入れると、レンズ間隔調整画面に続いて、正常表示チェック画面が表示されます。ここでは、本機のディスプレイ部の画面の仕組みと、画面位置の確認方法について説明します。

本機のディスプレイ部は、左右それぞれの小型画面で構成されています。これら2つの画面に映る映像が重なって、1つの映像として認識されます。

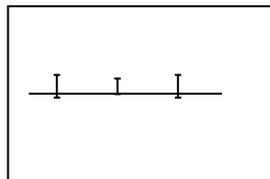
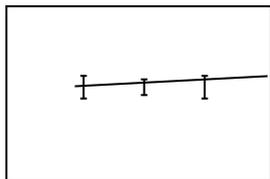
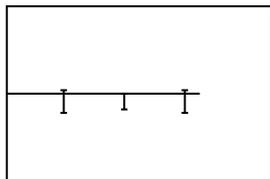
本機をお使いになるときは、必ず正常表示チェック画面をご覧ください。画面位置の調整が正常な状態が確認してください。



正常な状態

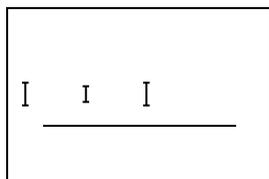
レンズ間隔調整スライドスイッチでレンズ間隔を調整して、3つの「I」マークすべてが横線と重なっていれば、正常です。

「I」マークと横線は、画面の中央で重なってなくても問題ありません。

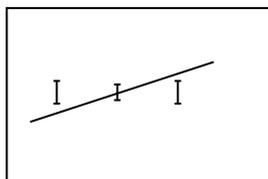


異常な状態

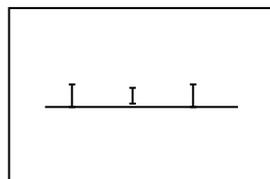
「I」マークが1つでも横線と重なって見えない場合は、もう一度装着を確認してください。（「スタートガイド」参照）それでも見えない場合は、直ちに使用を中止してください。本機が変形または破損しているおそれもあります。お買い上げ店またはソニーの修理相談窓口（裏表紙）にご相談ください。



「I」マークと横線がまったく重ならない。



横線が極端に斜めに傾いている。



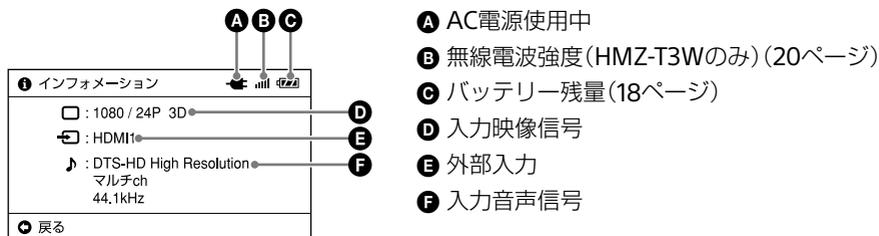
中央の「I」マークが横線と重ならない。

メニュー一覧

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

① インフォメーション

本機に接続している機器からの現在の入力信号(映像と音声)の情報、および各種情報が表示されます。入力信号が非対応の場合は「非対応信号」、信号が入力されていない場合は「無信号」と表示されます。



🔍 レンズ間隔調整

| | |
|----------------|--|
| レンズ間隔調整 | 映像を適切に表示するために、瞳孔間距離(眼幅)に合わせてヘッドマウントユニットのレンズ間隔の調整をします。レンズ間隔調整は、ヘッドマウントユニットのレンズ間隔調整スライドスイッチで行います。詳しくは、「スタートガイド」をご覧ください。 ご注意 <ul style="list-style-type: none">• レンズ間隔調整を正しく行わないと、適切な視聴ができません。本機を使用する際は、事前に必ずレンズ間隔調整を行ってください。• 調整中は、音声は消音状態になります。• 調整中は、音量調整はできません。 |
|----------------|--|

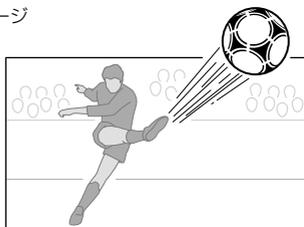
3D 3D設定

| | |
|--------------|---|
| 標準に戻す | [はい]を選択すると、[3D設定]のすべての設定項目をお買い上げ時の設定にリセットします。 |
|--------------|---|

3D表示

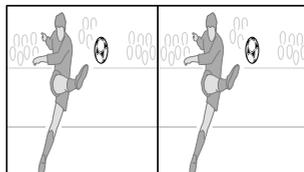
3Dコンテンツに対して、手動で表示方式を設定します。選択できる設定は、入力信号に3D方式の識別信号が含まれているかいないかで、以下のように異なります。

実際の3D表示イメージ



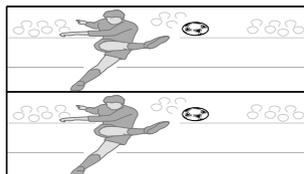
3D方式の識別信号がない3Dコンテンツの場合

[左右分割]：同じような映像が左右に並んで表示される3D映像方式（サイド・バイ・サイド方式）の3Dコンテンツを視聴するときに選択します。



[切]：2Dで表示します。

[上下分割]：同じような映像が上下に並んで表示される3D映像方式（トップ・アンド・ボトム方式）の3Dコンテンツを視聴するときに選択します。



3D方式の識別信号が含まれている3Dコンテンツの場合

[入]：3Dで表示します。

[切]：2Dで表示します。

ご注意

- 選択した設定で3Dコンテンツが適切に表示されないときは、[左右分割]の場合は[上下分割]に、[上下分割]の場合は[左右分割]に変更してみてください。
- [左右分割]、[上下分割]に設定した場合、3Dコンテンツの視聴が終了したら、設定を[切]に変更してください。

| | |
|----------------------|---|
| <p>自動3D表示</p> | <p>[入]：3D識別信号を検出したときに自動的に3Dで表示します。 3D識別信号の検出が途切れたときは、自動的に2D表示に切り換わります。</p> <p>[切]：[自動3D表示]をオフにします。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • [入]に設定していても3D表示にならない場合には、[3D表示]の設定を変更してください。 |
|----------------------|---|

画質・映像設定

| | |
|--|--|
| <p>画質モード</p> <p>ここで設定された[画質モード]は、以下の[標準に戻す]から[コントラストマスター]までの設定で細かく調整できます。</p> | <p>[ダイナミック]：コンサートやスポーツなどテレビ番組に適したメリハリのある鮮やかな映像になります。</p> <p>[スタンダード]：あらゆる映像ソースで、自然さを重視した標準的な映像になります。</p> <p>[シネマ]：映画表現に適した映像になります。</p> <p>[カスタム1 / カスタム2]：フラットな状態から、好みの画質に調整して保存します。</p> <p>[ゲーム1]：ゲームに適した映像になります。</p> <p>[ゲーム2]：ゲームの薄暗いシーンの視認性を向上します。</p> <p>[ゲーム3]：ゲームの暗いシーンの視認性を向上します。</p> <p>[ゲーム4]：ゲームの極端に暗いシーンの視認性を向上します。</p> <p>ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「ゲーム1」～「ゲーム4」選択時は、視聴中に操作ボタンの▲、▶、▼、◀ (15ページ)を押すと、それぞれ「ゲーム1」～「ゲーム4」の各モードに切り換えることができます。ただし、セットアップメニュー画面表示中は、この操作はできません。 |
| <p>標準に戻す</p> | <p>[はい]を選択すると、[画質モード]で選択しているモードの調整値([表示サイズ]、[スクリーン]、[24p True Cinema]、[シネマ変換]、[オーバースキャン]、[ワイド切換]以外の[画質・映像設定]の設定項目)を、お買い上げ時の設定にリセットします。</p> |
| <p>ピクチャー</p> | <p>映像のコントラストを調整します。</p> |
| <p>明るさ</p> | <p>映像の明るさを調整します。</p> |
| <p>色の濃さ</p> | <p>映像の色の濃さを調整します。</p> |

| | |
|-----------------|--|
| 色温度 | <p>色温度を調整します。</p> <p>[ナチュラル]：各[画質モード]に従い、自動的に人間の目の特性に最適な色温度に調整します。</p> <p>[高]：青みがかった冷たい印象の色調になります。</p> <p>[中]：[高]と[低1/低2]の中間の色調になります。</p> <p>[低1/低2]：赤みがかった暖かい印象の色調になります。[低2]は[低1]よりさらに赤みがかった色調になります。</p> |
| パネルドライブモード | <p>映像の動きの表現方法を選択します。</p> <p>[標準]：標準的な映像表現設定となります。</p> <p>[クリア]：動きの速い映像のぼけを軽減します。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • [クリア]にすると、速い動きによるぼけが軽減する代わりに、画面全体が暗くなります。気になる場合は、[標準]にしてください。 • 入力された映像信号によっては、画面全体がちらついて見える場合があります。気になる場合は、[標準]にしてください。 |
| クリアブラック | 画質モードに最適な映像の黒の表現を調整します。 |
| シャープネス (高域) | 映像の細い輪郭や細かいテクスチャーを制御して、はっきりさせたり、ぼかすことができます。 |
| シャープネス (中域) | 映像の太い輪郭や粗いテクスチャーを制御して、はっきりさせたり、ぼかすことができます。 |
| ノイズ除去 | <p>映像にざわざわと発生するランダムなノイズ成分を低減します。</p> <p>[強/中/弱]：[強] [中] [弱]から効果の度合いを設定します。</p> <p>[切]：[ノイズ除去]をオフにします。</p> |
| コントラスト リマスター | <p>黒レベル、白レベルを自動的に最適な状態に補正し、黒浮きや白沈みのない、メリハリのある映像にします。</p> <p>[強/中/弱]：[強] [中] [弱]から効果の度合いを設定します。</p> <p>[切]：[コントラストリマスター]をオフにします。</p> |
| 表示サイズ | <p>映像の表示サイズを調整します。</p> <p>[100%]：フルスクリーンで表示します。</p> <p>[90%/80%/70%]：表示サイズが小さくなります。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>スクリーン</p> <p>3D表示でコンテンツを視聴しているときは選択できません。 メニューから[レンズ間隔調整](31ページ)を行うと、[ノーマル]に戻ります。</p> | <p>[ノーマル]：オリジナル映像をそのまま表示します。</p> <p>[シアター 1]：映画館同様にスクリーンがカーブしているようなシミュレーション映像を出力します。</p> <p>[シアター 2]：[シアター 1]よりシネスコサイズに適したシミュレーション映像を出力します。</p> |
| <p>24p True Cinema</p> | <p>[入]：毎秒24コマの映像(フィルム映画など)が記録された市販のBDコンテンツ(BD-ROM)などを再生しているときに、そのまま毎秒24コマの映像を表示します。映画館で見るのと同じフィルム映画独特の映像を楽しめます。</p> <p>[切]：[24p True Cinema]をオフにします。毎秒24コマの映像信号を入力しているときは、毎秒60コマの映像に変換して表示します。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • [パネルドライブモード]が[クリア]に設定されている場合、入力された映像信号によっては、画面のちらつきが気になることがあります。その場合は、[切]にするか、[パネルドライブモード]を[標準]にしてください。 |
| <p>シネマ変換</p> | <p>[自動]：ビデオ素材(テレビドラマやアニメーション)とフィルム素材(映画フィルム)の違いを本機が検出し、自動的に素材に合わせた変換方法に切り換えます。</p> <p>[ビデオ]：ビデオ素材、フィルム素材にかかわらず、常にビデオ素材用の方式で映像を表示します。</p> |
| <p>オーバースキャン</p> <p>3D表示でコンテンツを視聴しているときは、選択できません。</p> | <p>表示領域を切り換えます。</p> <p>[入]：入力映像の周囲を隠します。映像の端にノイズなどが見えるような場合に選択します。</p> <p>[切]：入力映像をすべて表示します。</p> |
| <p>ワイド切換</p> <p>3D表示でコンテンツを視聴しているときは、選択できません。</p> | <p>[ノーマル]：4:3の縦横比のオリジナル映像をそのまま表示します。</p> <p>[フル]：4:3の縦横比の映像を表示する場合、映像を横長に拡大してフルスクリーンで表示します。16:9の縦横比の映像を表示する場合、オリジナル映像をそのままフルスクリーンで表示します。</p> <p>[ズーム]：オリジナル映像の縦横比のまま、全体を拡大して表示します。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • HD入力(1080i、720p、1080p)のときは、[ノーマル]は選択できません。 |

🔊 音質・音声設定

📌 ご注意

音質設定・音声設定の設定メニューは、[画音同期調整]以外は、プロセッサユニットを接続しているときのみ選択できます。

| | |
|-----------------------------------|---|
| <p>標準に戻す</p> | <p>[はい]を選択すると、[音質・音声設定]のすべての設定項目をお買い上げ時の設定にリセットします。</p> |
| <p>サラウンド</p> | <p>[<u>スタンダード</u>]：空間的に広がりのある標準的な音響設定になります。さまざまなコンテンツを空間的に広がりのあるサラウンドで楽しむことができます。</p> <p>[シネマ]：包まれ感や、各チャンネルの自然なつながり、自然な音質(特に台詞)を重視した映画館のような音響を再現します。音響に優れた映画館のような適度な広がりのあるサラウンド音場を楽しむことができます。映画に適しています。</p> <p>[ゲーム]：くっきりとした音像定位や、明確な方向感の再現を重視したゲームに最適な音響設定になります。マルチチャンネルサラウンドのゲームなどで臨場感あふれるプレイを楽しむことができます。特にマルチチャンネルの音源を持つゲームに適しています。</p> <p>[ミュージック]：コンテンツの音の質感を生かして再生するモニタースタジオのような音響設定になります。モニタースタジオで聴くような、原音に忠実な再生音を楽しめます。音楽に適しています。</p> <p>[切]：[サラウンド]をオフにします。</p> <p>📌 ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • 入力された音声信号によっては、選択したサラウンド設定により再生音量に違いが生じる場合があります。 |
| <p>Dolby Pro Logic IIx</p> | <p>マトリックスデコーダーの動作を選択します。入力音声は2チャンネルのときでもマトリックスデコーダーを選ぶことによって、簡単にサラウンド効果を楽しむことができます。</p> <p>[Movie]：Dolby Pro Logic IIxのムービーモード処理を行います。Dolby Surround エンコード映画音声の再生に適しています。また、吹き替え版や古い映画のビデオなども7.1チャンネルで再生できます。</p> <p>[Music]：Dolby Pro Logic IIxのミュージックモード処理を行います。CDなど通常のステレオ音源に適しています。</p> <p>[切]：マトリックスデコーダーは動作しません。</p> <p>📌 ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • DTS Neo:6設定を「切」以外にしたときはDolby Pro Logic IIxは「切」となります。 |

| | |
|--|---|
| <p>DTS Neo:6</p> | <p>マトリックスデコーダーの動作を選択します。入力音声は2チャンネルのときでもマトリックスデコーダーを選ぶことによって、簡単にサラウンド効果を楽しむことができます。</p> <p>[Cinema]：DTS Neo:6のシネマモード処理を行います。</p> <p>[Music]：DTS Neo:6のミュージックモード処理を行います。</p> <p>[切]：マトリックスデコーダーは動作しません。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • Dolby Pro Logic II X 設定を「切」以外にしたときはDTS Neo:6は「切」となります。 |
| <p>高音</p> | <p>高音域を調整します。</p> |
| <p>低音</p> | <p>低音域を調整します。</p> |
| <p>ハーモニクスイコライザー</p> | <p>[入]：音声の圧縮によって失われがちな消え際の微小な音を再現します。</p> <p>[切]：[ハーモニクスイコライザー]をオフにします。</p> |
| <p>画音同期調整</p> | <p>音声の出力を遅らせて、映像と音声のずれを補正することができます。音声出力のタイミングは、10ミリ秒単位で遅らせることができます(0～100ミリ秒)。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • この機能を使っても、映像と音声のずれを補正できない場合があります。 |
| <p>ヘッドホンタイプ</p> | <p>お使いのヘッドホンのタイプに最適なバーチャルサラウンドの設定に切り換えます。</p> <p>[インナー]：付属のヘッドホンなど、耳に入れるタイプのヘッドホンの場合に最適な設定になります。</p> <p>[オーバー]：耳を覆うタイプや耳に当てるタイプのヘッドホンの場合に最適な設定になります。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • ヘッドホンに合わせて正しく設定されていないと、サラウンドに聞こえない場合があります。 |
| <p>音声切換</p> <p>音声入力がモノラル二重音声以外のときは、選択できません。</p> <p>音声入力がリニアPCMのときは、選択できません。</p> | <p>リニアPCM以外のモノラル二重音声を入力している場合に、主音声、副音声の出力を切り換えます。</p> <p>[主]：主音声のみを左右のヘッドホンから出力します。</p> <p>[副]：副音声のみを左右のヘッドホンから出力します。</p> <p>[主/副]：主音声を片方のヘッドホンから出力し、副音声をもう片方のヘッドホンから出力します。</p> |

目 本体設定

| | |
|--|---|
| <p>パスワード設定 パスワード解除</p> <p>パスワード設定されていると、[パスワード設定]は選択できません。パスワード設定されていないと、[パスワード解除]は選択できません。</p> | <p>パスワードを設定して本機の使用を制限します。パスワードを設定すると、本機の電源を入れたときに、パスワードの入力が必要になります。</p> <p>パスワードを解除するときは、[パスワード解除]を選択し、パスワードを入力して解除します。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none">以下の状態のときは、自動的に本機の電源が切れるようになっていきます。電源を入れてパスワードを入力し直すか、パスワードを解除してください。<ul style="list-style-type: none">パスワードの入力ミスで表示されるセットアップメニューを◀ボタンで終了したときパスワード入力画面で無操作時間が90秒を経過したとき |
| <p>入力切換</p> <p>プロセッサユニットと接続していないときは選択できません。</p> | <p>プロセッサユニットへの入力を選択します。選択した入力端子からの信号が本機に表示されます。</p> <p>[HDMI1]：HDMI IN 1端子から入力します。 [HDMI2]：HDMI IN 2端子から入力します。 [HDMI3]：HDMI IN 3端子から入力します。</p> |
| <p>HDMIダイナミックレンジ</p> | <p>映像入力の信号レベルを切り換えます。</p> <p>[オート]：自動で映像入力レベルを判別します。通常は[Auto]のままお使いください。</p> <p>[フル]：映像が白くつぶれたり、黒くつぶれたりする場合に設定してください。</p> <p>[リミテッド]：映像の白がくすんでいたり、黒が浮いている場合に設定してください。</p> |
| <p>HDMIパススルー</p> <p>プロセッサユニットと接続していないときは選択できません。</p> | <p>[入]：本機が待機状態のときに、機器のコンテンツをテレビなどで視聴できます。詳しくは、「スタートガイド」をご覧ください。</p> <p>[切]：HDMIパススルー機能をオフにします。テレビなどをプロセッサユニットに接続していないときは、消費電力を抑えるため、[切]を選択してください。</p> |

| | |
|------------------------|---|
| <p>HDMI機器制御</p> | <p>[する]：ヘッドマウントユニットの▲/▼/◀/▶ボタン(15ページ)を使って、本機と接続している機器を操作できます。</p> <p>▲ボタン：再生します。</p> <p>▼ボタン：一時停止します。</p> <p>◀ボタン：前のチャプターにスキップします。押し続けると、早戻しします。</p> <p>▶ボタン：次のチャプターにスキップします。押し続けると、早送りします。</p> <p>[しない]：HDMI機器制御機能をオフにします。接続した機器のリモコンで操作してください。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • [する]に設定しても操作できない場合は、接続した機器は本機のHDMI機器制御機能に対応していません。接続した機器で操作してください。 • 画質モードを[ゲーム1]、[ゲーム2]、[ゲーム3]、[ゲーム4]に設定している場合は接続機器の操作ができません(33ページ)。 |
| <p>無装着電源オフ</p> | <p>[入]：ヘッドマウントユニットを頭からはずして20分後に本機の電源が自動的に切れる設定になります。</p> <p>[切]：[無装着電源オフ]をオフにします。</p> <p>ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設定の[入][切]にかかわらず、ヘッドマウントユニットの画面は、頭からはずして10秒後に自動的に消えます。 |
| <p>無信号電源オフ</p> | <p>[入]：入力が無信号の状態で30分経過すると、電源が自動的に切れます。</p> <p>[切]：[無信号電源オフ]をオフにします。</p> |
| <p>言語設定</p> | <p>画面に表示されるメニューなどの表示言語は、日本語以外の設定に変更することはできません。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設定中は、音声は消音状態になります。 • 設定中は、音量調整はできません。 |
| <p>メニュー表示</p> | <p>[3D]：メニューを3D表示します。</p> <p>[2D]：メニューの3D表示をオフにします。</p> |

| | |
|--|--|
| <p>連続視聴警告</p> | <p>[入]：電源を入れてから3時間が経過したときに自動的に電源を切るかどうかの選択画面が表示されます。この画面で[はい]を選択すると、自動的に電源が切れます。[いいえ]を選択すると、電源を入れてから6時間が経過したときに強制的に電源が切れます。</p> <p>[切]：[連続視聴警告]をオフにします。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 3時間経過時の警告が表示された状態で90秒間放置すると、自動的に電源が切れます。 |
| <p>起動時視聴警告表示</p> | <p>[入]：本機の電源を入れたときに視聴警告が表示されます。</p> <p>[切]：[起動時視聴警告表示]をオフにします。</p> |
| <p>無線接続 (HMZ-T3Wのみ)</p> | <p>[入]：バッテリーユニットの無線をオンにします。</p> <p>[切]：バッテリーユニットの無線をオフにします。</p> |
| <p>無線待機 (HMZ-T3Wのみ)</p> <p>プロセッサユニットと接続していないときは選択できません。</p> | <p>[入]：本機が待機状態のとき、ヘッドマウントユニットを起動するとプロセッサユニットが無線経由で起動します。</p> <p>[切]：[無線待機]をオフにします。消費電力を抑えることができません。</p> |
| <p>お買い上げ時の設定</p> | <p>[はい]を選択すると、すべての設定項目をお買い上げ時の設定にリセットします。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> [本体設定]の[パスワード設定]で設定したパスワードも解除されず。 |

故障かな？と思ったら

本機の使用中に以下のような症状が起きたときは、修理に出す前に「原因/処置」の欄を参考に点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーのご相談窓口(裏表紙)へお問い合わせください。

映像や音声に関するトラブルの場合は、以下の複数の項目をご覧ください。

- **映像のトラブル** → **A** よくあるトラブル、**C** 映像・音声(共通)、**D** 映像、**F** 無線
- **音声のトラブル** → **A** よくあるトラブル、**C** 映像・音声(共通)、**E** 音声、**F** 無線

A よくあるトラブル

本機に映像や音声がでない、映像が3D表示に見えない

1 本機の電源を入れる。

2 再生側の機器の電源を切り、電源を入れ直す。

- 再生側の機器がPlayStation®3のときは、PlayStation®3の電源を切り、電源ボタンを5秒以上押ししたままにして(もう一度「ピッ」という音がするまで)、電源を入れ直してください。(AVアンプを中継している場合はAVアンプの電源も入れ直してください。)

3D表示のトラブル

同じような映像が左右に並んで表示される、または上下に並んで表示されるときは

- 3Dの表示方式の設定が正しくない可能性があります。[3D設定]の[3D表示]の設定を切り換えてみてください(32ページ)。

3D表示に見えないときは

- 本機に接続した再生側の機器の設定と取扱説明書もご確認ください。

プロセッサユニットのHDMI OUT (TV)端子に接続したテレビに再生側の機器の映像や音声がでない

1 [本体設定]の[HDMIパススルー]の設定が[入]になっていることを確認する(38ページ)。

2 本機の電源を切り、スタンバイ状態にする。

- HDMIパススルー機能は[HDMIパススルー]の設定を[入]にした上で本機の電源を切ったときに有効となります。
- 本機とテレビで同時視聴はできません。

3 再生側の機器の電源を切り、電源を入れ直す。

- 再生側の機器がPlayStation®3のときは、PlayStation®3の電源を切り、電源ボタンを5秒以上押ししたままにして(もう一度「ピッ」という音がするまで)、電源を入れ直してください。

本機の電源を入れたときに表示される正常表示チェック画面で、横線と「I」マークが重なって見えない

1 スタートガイドの「2 調整・装着する」をご覧くださいになり、ヘッドバンドの長さや位置を再度調整し、装着のポイントを確認する。

2 スタートガイドの「3 設定する・見る」をご覧くださいになり、レンズ間隔を調整しながら画面表示を確認する。

- 1、2を行っても横線と「I」マークが1本も重ならないときは、「画面位置を確認する」(28 ページ)をご覧ください。

B 電源

| 症状 | 原因/処置 |
|----------|--|
| 電源が入らない。 | <ul style="list-style-type: none">→ 「スタートガイド」をご覧くださいになり、ACアダプターが正しく接続されているか確認してください。→ バッテリーが充電されているか確認してください(18ページ)。→ ヘッドマウントユニットの  (電源オン/スタンバイ) ボタンを1秒以上押してください。 |
| 電源が切れない。 | <ul style="list-style-type: none">→ ヘッドマウントユニットの  (電源オン/スタンバイ) ボタンを1秒以上押してください。 |

C 映像・音声(共通)

| 症状 | 原因/処置 |
|----------------|---|
| 映像や音声がでない、乱れる。 | <ul style="list-style-type: none">→ 「スタートガイド」をご覧ください。ACアダプター、HDMIケーブルが正しく接続されているか確認してください。→ プロセッサユニットのHDMI IN端子に接続した機器の電源が入っているか確認してください。→ プロセッサユニットをご使用の場合、INPUTボタンで視聴したい機器を正しく選んでいるか確認してください。→ 入力信号が本機に対応しているか確認してください。対応する信号については、「主な仕様」(53ページ)の「映像入力」、「音声入力」をご覧ください。入力信号が本機で対応していない場合は、接続機器の映像出力や音声出力の設定を確認してください。→ HDMIケーブルがしっかり差し込まれているか確認してください。それでも改善しない場合は、HDMIケーブルが断線している可能性があります。断線しているときは、新しいケーブルに交換してください。→ AV アンプを介して機器と本機を接続しているときは、本機に直接つないでみてください。詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。→ 付属のHDMIケーブルまたは、市販のハイスピード対応と明記されているHDMIケーブルをお使いください。→ D 映像、E 音声、F 無線の項目もご覧ください。 |

D 映像

| 症状 | 原因/処置 |
|-------------|--|
| 映像が出ない、乱れる。 | <ul style="list-style-type: none">→ [3D設定]の[3D表示]を[左右分割]または[上下分割]に設定したときは、3D映像の視聴終了後に、設定を[切]に変更してください(32ページ)。→ 接続機器側のDeep Color出力の設定を無効にしてお使いください。Deep Color出力の設定ができない機器で1080FP (フレームパッキング)の映像を出力している場合は、解像度を720FPに切り換えてください。→ C 映像・音声(共通)、F 無線の項目もご覧ください。 |

| 症状 | 原因/処置 |
|---------------------------------|--|
| 画面が暗い、ぼやける。 | <ul style="list-style-type: none"> → 「スタートガイド」をご覧ください。ACアダプター、HDMIケーブルが正しく接続されているか、ヘッドマウントユニットを正しく装着しているか確認してください。 → レンズ間隔調整が適切に行われていない可能性があります(29ページ)。セットアップメニューの[レンズ間隔調整]で調整してください(31ページ)。 → ヘッドマウントユニット内側のレンズ部の表面が汚れている場合は、乾いた柔らかい布でクリーニングしてください。 |
| 明るい部分や暗い部分の映像が明るくなりすぎたり暗くなり過ぎる。 | <ul style="list-style-type: none"> → HDMI規格からはずれたRGB信号レベルで入力されたときに症状が出る場合があります。つないだ機器のRGB出力レベルを切り換えるか、本機のHDMIダイナミックレンジを切り換えてください。38ページの[HDMIダイナミックレンジ]をご覧ください。 → 画質モードを確認して、適切なモードに切り換えてください(33ページ)。 |
| 画面が突然消える。 | <ul style="list-style-type: none"> → 使用開始から3時間経過すると確認画面が表示され、そのまま放置すると90秒で電源が切れます。また、使用開始から6時間が経過すると、目の健康を保つため、自動的に電源が切れます。詳しくは、40ページの[連続視聴警告]をご覧ください。 → ヘッドマウントユニットを正しく装着してください。装着センサーにより、頭からはずすと10秒後に画面の表示は自動的に消えます。詳しくは、39ページの[無装着電源オフ]をご覧ください。 → [無信号電源オフ]を[入]にしている場合、信号入力がない状態で30分間経過すると、自動的に電源が切れます(39ページ)。 |
| 時間が経つと画像が暗くなる。 | <ul style="list-style-type: none"> → 静止画またはほぼ静止した映像を表示したままにすると、画像や映像の表示が徐々に暗くなるがありますが、故障ではありません。本機や接続された機器を操作すれば、元の状態に戻ります。 |

| 症状 | 原因/処置 |
|---|--|
| <p>画面に点灯しない点や、常に点灯している点がある。</p> | <p>→ 本機の表示部は非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、画面の一部にごくわずかの黒い点または常に点灯する赤、青、緑の点が現れる場合があります。ヘッドマウントディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。</p> <p>交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。</p> <div data-bbox="815 150 986 280" style="text-align: right;">  <p>輝点・減点</p> </div> |
| <p>オリジナルのフィルムと同じ毎秒24コマで収録された市販のBD-ROMなどを再生しているとき、シーンによって不自然に見えることがある。</p> | <p>→ [24p True Cinema]を[入]にすることにより、改善される場合があります。詳しくは、35ページの[24p True Cinema]をご覧ください。</p> |
| <p>画面全体がちらつくことがある。</p> | <p>→ [パネルドライブモード]を[クリア]にしていたり、[24p True Cinema]を[入]にしていると、入力された映像信号によっては、画面全体がちらついて見えることがあります。詳しくは、34ページの[パネルドライブモード]と、35ページの[24p True Cinema]をご覧ください。</p> |
| <p>3D映像に見えない。</p> | <p>→ 同じような映像が左右に並んで表示される、または上下に並んで表示されるときは3Dの表示方式の設定が正しくない可能性があります。[3D設定]の[3D表示]の設定を切り換えてみてください(32ページ)。</p> <p>→ 3D映像の見えかたには個人差があります。</p> <p>→ [3D設定]のメニューは表示されるのに3D映像で表示されないときは、接続している3Dコンテンツの再生機器の電源を切り、再度機器の電源を入れ直してみてください。</p> <p>→ 本機には、2D映像を3D映像に変換して表示する、“疑似3D表示機能”はありません。</p> <p>→ アナグリフ方式の映像を3Dでご覧になるには、赤、青などの色が付いた専用の眼鏡が必要です。</p> <p>→ 本機に接続した再生側の機器の設定もご確認ください。</p> |

| 症状 | 原因/処置 |
|----------------------|---|
| 映像が自動的に3D表示に切り変わらない。 | <ul style="list-style-type: none"> → [3D設定]の[自動3D表示]の設定が[入]になっていることを確認してください(33ページ)。 → 3D方式の識別信号が含まれないタイプの3Dコンテンツでは、自動的に3D映像として表示されません。[3D設定]の[3D表示]の設定を[左右分割]または[上下分割]に切り換えてみてください(32ページ)。 |

目 音声

| 症状 | 原因/処置 |
|---------------------------------|---|
| 音が出ない。 雑音が聞こえる。 音量が上がらない。 | <ul style="list-style-type: none"> → ヘッドマウントユニットのVOL+/-ボタンで音量を調整してください。 → ヘッドホンをヘッドホン端子にしっかり差し込んでください(スタートガイドの「1 接続する」をご覧ください)。正しく接続されていないと再生音が正常に聞こえません。 → ヘッドホンのプラグが汚れている場合は、乾いた布でプラグの汚れを拭きとってください。 → HDMI機器制御機能に対応するホームシアターシステムやAVアンプなどの機器を接続しているときは、以下の設定を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> - [本体設定]の[HDMI機器制御]の設定が[する]になっていることを確認してください(39ページ)。 - AVアンプなどの接続機器側でHDMI機器制御の設定が有効になっているか確認してください。詳しくはお使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。 → プロセッサユニットのヘッドホン端子をご使用の場合、音量操作を行っても多少遅れて音量が変化します。 → C 映像・音声(共通)、F 無線の項目もご覧ください。 |
| サラウンドに聞こえない。 | <ul style="list-style-type: none"> → [音質・音声設定]の[サラウンド]の設定が[切]になっていないか確認してください(36ページ)。 → [音質・音声設定]の[ヘッドホンタイプ]の設定が、お使いのヘッドホンのタイプに適した設定になっているか確認してください(37ページ)。 → 聞こえかたには個人差があります。 |
| 低音が聞こえない。 | <ul style="list-style-type: none"> → イヤーピースがしっかり耳にフィットしているか確認してください(26ページ)。 |

| 症状 | 原因/処置 |
|--|--|
| <p>コーデック音声*が入力されない。</p> <p>* 音声入力(54ページ)に記載のリニアPCM以外の音声フォーマットです。</p> | <p>→ 再生側の機器の音声出力設定がコーデック音声の信号をリニアPCM信号に変換して出力する設定になっている可能性があります。その場合は、コーデック音声の信号をそのまま出力する設定に切り換えてください。詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。</p> |
| <p>聞きたい音声にならない。</p> | <p>→ モノラル二重音声の場合は、[音質・音声設定]の[音声切換]の設定を変更してください(37ページ)。その他の場合は、接続機器の設定をご確認ください。</p> |

F 無線(HMZ-T3Wのみ)

| 症状 | 原因/処置 |
|--|--|
| <p>無線接続ができない。 映像や音声途切れる、停止する。 WIRELESSランプが点灯しない。</p> | <p>→ プロセッサユニットとバッテリーユニットの電源が入っていることを確認してください。</p> <p>→ 画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。</p> <p>→ プロセッサユニットとバッテリーユニットの距離、向き、間の障害物などによって電波が弱くなり途切れたりします。 近く(3 m以内程度)に設置したり、プロセッサユニットとバッテリーユニットのSONYロゴ面が向かい合うように向きを変えてみてください。 バッテリーユニットのSONYロゴ面(アンテナ設置面)が床面に向いていたり、プロセッサユニットのある方向と反対に向いていると、無線通信性能が低下します。</p> <p>→ 平置き時にうまく通信できない場合は、バッテリーユニットに付属のスタンドを取り付け、SONYロゴをプロセッサユニットに向けて位置を調整してください(19ページ)。</p> <p>→ プロセッサユニットとバッテリーユニットの間に通信を妨げる物がないところで使用してください。</p> <p>→ 他の無線機器を利用している場合、干渉している可能性があります。他の無線機器の電源を切って確認してみてください。</p> <p>→ 本機と同じ周波数(60 GHz)の無線機を、本機を含み3組以上同時に使用すると電波干渉などにより映像・音声の伝送に支障をきたしたり、正常な操作ができなくなる可能性があります。</p> |

G 充電

| 症状 | 原因/処置 |
|-----------------------------|--|
| バッテリーが充電されない。 充電に時間がかかる。 | <ul style="list-style-type: none">→ ACアダプターや電源コードがしっかり差し込まれているか確認してください。→ 極端に寒いところや暑いところでは充電できないことがあります。周囲の温度が5℃～35℃の環境で充電してください。→ 電源を入れたまま充電すると充電に時間がかかります。電源を切ってから充電してください。→ プロセッサユニットとバッテリーユニット間を無線接続で使用しているときは、充電されないことがあります。充電するには、電源を切るか、有線接続で使用してください（HMZ-T3Wのみ）。→ 本機を1年以上使用していなかった場合、バッテリーが劣化している可能性があります。ソニーのご相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。 |

H HDMI機器制御

| 症状 | 原因/処置 |
|-----------------------|--|
| 本機のボタンで接続した機器を操作できない。 | <ul style="list-style-type: none">→ [本体設定]の[HDMI機器制御]の設定が[する]になっていることを確認してください(39ページ)。→ 接続した機器がHDMI機器制御機能に対応しているか確認してください。→ 接続した機器のHDMI機器制御機能が正しく設定されているか確認してください。詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。→ HDMI機器制御機能に対応していないAVアンプを接続すると、HDMI機器制御機能は正しく動きません。→ 電源を入れた直後や、[本体設定]の[HDMI機器制御]を[する]に設定した直後には、本機のボタンで接続機器の操作ができないことがあります。→ [画質モード]を[ゲーム1]、[ゲーム2]、[ゲーム3]、[ゲーム4]に設定している場合は接続機器の操作ができません(33ページ)。 |

■ その他

| 症状 | 原因/処置 |
|---|---|
| HDMIパススルー使用時に、テレビのHDMI機器制御機能で再生機器が操作できない。 | → テレビの取扱説明書をご覧になり、テレビのHDMI機器制御の設定で、制御機器としてプロセッサユニットに接続された再生機器を指定してください。 |
| ボタンを押しても、操作できない。 | → ヘッドマウントユニットを装着しないと、ボタンは機能しません。 |
| セットアップメニュー画面の右上に[DEMO]と表示される。 | → ソニーの修理相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。 |
| ヘッドマウントユニットが鼻や額に当たって痛い。 | → ヘッドパッドの位置を手前や下に調整してください(23ページ)。 |

ランプによる異常通知

バッテリーユニットとプロセッサユニットのランプは、本機の異常状態をお知らせします。

| | ランプ表示 | 異常状態 |
|----------------------|--------------------|--|
| バッテリーユニット | | |
| ⦿ (電源)ランプ (オレンジ) | 3秒間隔で2回点滅 の繰り返し | ソニーの修理相談窓口(裏表紙)へご相談ください。 バッテリーユニットが故障している可能性があります。 |
| | 3秒間隔で3回点滅 の繰り返し | バッテリーユニットで温度異常が発生しています。 そのままの状態ですばらく放置してください。 温度が下がると点滅は停止します。 バッテリーユニットの通風孔をふさがず、風通しをよくして使用してください。 |
| | 3秒間隔で5回点滅 の繰り返し | バッテリー異常が発生しています。 本機の使用を中止し、ソニーの修理相談窓口(裏表紙)にご連絡ください。 |
| プロセッサユニット | | |
| POWER (電源) ランプ(赤) | 3秒間隔で2回点滅 の繰り返し | ソニーの修理相談窓口(裏表紙)へご相談ください。 プロセッサユニットが故障している可能性があります。 |
| | 3秒間隔で3回点滅 の繰り返し | プロセッサユニットで温度異常が発生しています。 そのままの状態ですばらく放置してください。 温度が下がると点滅が停止します。 プロセッサユニットの通風孔をふさがず、風通しをよくしてください。 |

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうか点検してください。

それでも具合が悪いときはソニーの相談窓口へソニーのご相談窓口(裏表紙)へご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：HMZ-T3/HMZ-T3W
- 本機に接続している機器のメーカーと型名
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日

保証期間中の修理について

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、保証期間内であっても、有料修理とさせていただきます場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理とさせていただきます。

部品の保有期間について

当社ではヘッドマウントディスプレイの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後最低6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

持ち込み修理サービスについて

本製品の修理をご希望の際は、プロセッサユニットやバッテリーユニットなど、すべての同梱物をヘッドマウントユニットと一緒に最寄りのソニーサービスステーションにお持ち込みください。

消耗品の交換について

通常使用やお手入れの過程で消耗する以下の部品に対しては、別売の交換部品をご用意しております。交換部品のご購入については、お買い上げ店またはソニーの修理相談窓口(裏表紙)までお問い合わせください。

- イヤーピース*
- ライトシールド(上)(左右)
- ライトシールド(下)
- ケーブルホルダー
- ヘッドパッドクッション
- ヘッドバンドアジャスタークッション
- スタンド(HMZ-T3Wのみ)

* EP-EX11シリーズ(SS、S、M、Lの各サイズ)でお問い合わせください。

また、HMZ-T3Wのみ、ノイズアイソレーションイヤープースEP-EXN50シリーズ(S、M、Lの各サイズ)もお買い求めいただけます。

廃棄するときは

環境保護のため、リチウムイオン充電電池を取り出してください。

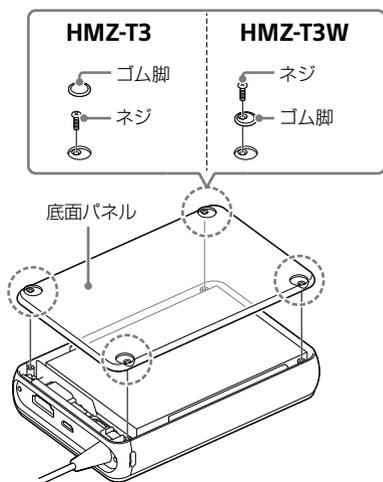
充電電池を取りはずす前に、ACアダプターを抜いて本機を充電電池のみで使用して、充電電池を使いきってください。

警告

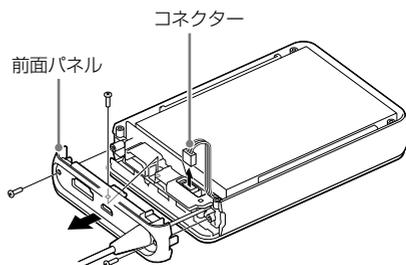
- 廃棄するとき以外は、絶対にキャビネットを開けないでください。
- バッテリーケースを取りはずす際には、バッテリー部分にドライバーの先端などが当たらないように注意してください。バッテリーに損傷を与えると、漏液、発熱、発火、破裂などの危険があります。

バッテリーケースの取りはずしかた

- 1 バッテリーユニット底面のゴム脚(4か所)とネジ4本をはずし、底面パネルを取りはずす。



- 2 ネジ3本をはずして前面パネルを取りはずし、コネクターを抜く。

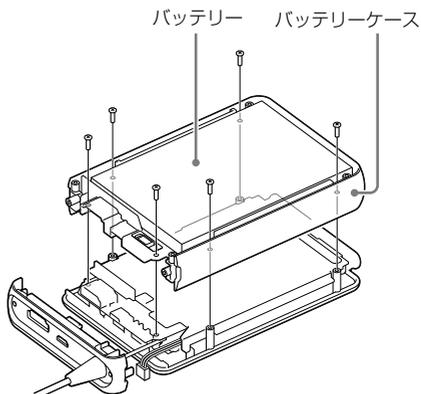


ご注意

コネクターを抜くとき、金属製ピンセットなどでコードの被覆に傷をつけないようご注意ください。

- 3 ネジ6本をはずし、バッテリーケースを取りはずす。

取りはずしたバッテリーケースをバッテリーを付けたままリサイクルします。



ご注意

バッテリーケースからバッテリーを取りはずさないでください。

主な仕様

電源

プロセッサユニット：
DC IN端子 8.4 V
ヘッドマウントユニットと
バッテリーユニット：
マイクロUSB端子(充電用) DC 5 V

消費電力

プロセッサユニット：
8.0 W (無線動作) (HMZ-T3Wのみ)
4.0 W (有線動作)
0.4 W (待機時)
5.0 W (無線待機時) (HMZ-T3Wのみ)
2.0 W (HDMI パススルー時)
ヘッドマウントユニットと
バッテリーユニット：
11 W (充電時)

バッテリー充電時間

ヘッドマウントユニットと
バッテリーユニット：
約4.5 時間(待機時、23 °C)
約5.5 時間(有線動作時、23 °C)

バッテリー動作時間

ヘッドマウントユニットと
バッテリーユニット：
約3 時間(無線接続時、23 °C)
(HMZ-T3Wのみ)
約7 時間(HDMI接続時、23 °C)
約3 時間(MHL接続時、23 °C)

許容動作温度

5 °C ~ 35 °C

許容動作湿度

25% ~ 80%

外形寸法(幅×高さ×奥行き、最大突起部含む)

プロセッサユニット：
約150 mm×31 mm×107 mm
ヘッドマウントユニット：
約189 mm×148 mm×270 mm
(ヘッドバンド(上)含まず、ヘッド
バンド(下)長さセンター位置)
バッテリーユニット：
約80 mm×26 mm×119 mm

質量

HMZ-T3

プロセッサユニット：
約 220 g (接続ケーブル含まず)
ヘッドマウントユニット：
約 320 g (ライトシールド(上)含
む、接続ケーブル含まず)
バッテリーユニット：
約 160 g (接続ケーブル含まず)

HMZ-T3W

プロセッサユニット：
約250 g (接続ケーブル含まず)
ヘッドマウントユニット：
約320 g (ライトシールド(上)含
む、接続ケーブル含まず)
バッテリーユニット：
約210 g (接続ケーブル含まず)

表示画素数(水平×垂直)

1280×720

瞳孔間距離(眼幅)適合範囲

53.0 mm ~ 76.7 mm

入出力端子

プロセッサユニット：

- HDMI IN 1：
19ピン標準コネクター
- HDMI IN 2：
19ピン標準コネクター
- HDMI IN 3：
19ピン標準コネクター
- HDMI OUT (TV)*：
19ピン標準コネクター
- HDMI OUT (HMD)：
19ピン標準コネクター（前面）

ヘッドホン端子：
ステレオ標準ジャック

ヘッドマウントユニット：

ヘッドホン端子：
ステレオミニジャック

バッテリーユニット：

- HDMI IN/MHL：
19ピン標準コネクター
- MHLバージョン：MHL 1
- MHL：5 V、500 mA 電源供給可能

* HDMI OUT (TV)端子からは、プロセッサユニットに入力された信号がそのまま出力されます(HDMIパススルー機能有効時)。ただし、次のような入力信号にはパススルー出力は対応しません。

- － 4Kの解像度を持つ映像信号(3840 (水平) × 2160 (垂直)ピクセル以上の高解像度信号)

映像入力

映像入力(2D)：

- 480/60p、576/50p、720/24p、
720/50p、720/60p、1080/50i、
1080/60i、1080/24p、1080/50p¹⁾、
1080/60p¹⁾

映像入力(3D：フレームパッキング、サイド・バイ・サイド、トップ・アンド・ボトム)：

- 720/50p¹⁾、720/60p¹⁾、
1080/50i²⁾、1080/60i²⁾、
1080/24p¹⁾、1080/50p³⁾、
1080/60p³⁾

音声入力

バッテリーユニット：

- リニアPCM (2チャンネル)
32/44.1/48 kHz

プロセッサユニット：

- リニアPCM (2チャンネル/マルチチャンネル) 32 kHz ~ 192 kHz
- MPEG-2 AAC
- Dolby Digital
- Dolby Digital EX
- Dolby Digital Plus
- Dolby TrueHD
- DTS
- DTS-ES
- DTS 96/24
- DTS-HD Master Audio
- DTS-HD High Resolution Audio
- DTS-HD LBR

- 1) MHL入力には対応していません。
- 2) MHL入力、およびフレームパッキング方式、トップアンドボトム方式には対応していません。
- 3) MHL入力、およびフレームパッキング方式には対応していません。

無線部(HMZ-T3Wのみ)

準拠規格：

WirelessHD 1.1

変調方式：

OFDM

使用周波数：

59.40 GHz - 63.72 GHz (2 - 3チャンネル)

通信距離：

約7 m**

**使用環境により異なります。

ヘッドホン(HMZ-T3に付属)

再生周波数帯域：

5 Hz ~ 24,000 Hz

インピーダンス：

16 Ω (1 kHz)

ヘッドホン(HMZ-T3Wに付属)

再生周波数帯域：

4 Hz ~ 27,000 Hz

インピーダンス：

16 Ω (1 kHz)

ACアダプター AC-UD10 (ヘッドマウントユニットとバッテリーユニット用)

定格入力

100 V ~ 240 V AC、

50 Hz/60 Hz、0.2 A

定格出力：

DC 5 V、1.5 A

動作温度：

0 $^{\circ}$ C ~ 40 $^{\circ}$ C

保存温度：

-20 $^{\circ}$ C ~ +60 $^{\circ}$ C

外形寸法(幅 × 高さ × 奥行き)：

約78 mm × 22 mm × 36 mm

質量：

約45 g

ACアダプター AC-L200D (プロセッサユニット用)

定格入力

100 V ~ 240 V AC、

50 Hz/60 Hz、0.35 A ~ 0.18 A

定格出力：

DC 8.4 V、1.7 A

動作温度：

0 $^{\circ}$ C ~ 40 $^{\circ}$ C

保存温度：

-20 $^{\circ}$ C ~ +60 $^{\circ}$ C

外形寸法(幅 × 高さ × 奥行き)：

約48 mm × 29 mm × 81 mm

質量：

約170 g

付属品

「付属品」(13 ページ)をご覧ください。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機で使用する技術

- プロセッサユニットを使用すると、ヘッドホンと7.1ch 対応バーチャルホンテクノロジー (“VPT” : Virtualphones Technology)により、立体感、奥行き感のあるマルチチャンネルバーチャルサラウンドをお楽しみいただけます。
- マルチチャンネルサラウンドのゲームに特化した音場を楽しめる「ゲームモード」を搭載。正確な定位によりさらに臨場感のあるプレイが楽しめます。本機のゲームモードは、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントのサウンドデザイナー監修の元、音場の作り込みを行いました。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル…………… 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話… 050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル…………… 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話… 050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に

「204」+「#」

を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

この説明書は、VOC（揮発性有機化合物）
ゼロ植物油型インキを使用しています。

